

清閑寺せいかんじは小松谷の良にして佐伯公行さへきのきんつらの建立なり、本尊は千手観音の立像、菅神くわんじんの御作なり。

高倉院たかくらのゐんの陵当寺にあり。

〔治承五年四月十四日新院崩御、清閑寺せいかんじにて煙となしたてまつるとき

新 古 常に見し君が御幸をけふとへば帰らぬ旅と聞ぞ悲しき 法 印 澄 憲

小督こがうの墓は陵の左のかたにあり、高倉院たかくらのゐんの御寵愛を蒙る桜町中納言さくらまちちゆうなごんの女なり。〔委は平家物語、盛衰記にあり〕